

# オープンアクセスジャーナルに論文を投稿する際は ハゲタカジャーナルに ご注意ください



ハゲタカジャーナル (predatory journal) は、急いで出版したいという著者の心理を利用したり、権威のある学術雑誌のように装うことで、**著者を騙して高額な投稿料を取ることを目的**としており、学術雑誌の重要な機能である査読をほとんど、あるいは全く行わないため、**投稿された論文の質は保証されません**



研究者としての  
キャリア形成に  
不利益を受ける  
トラブルが発生する  
可能性があります



## 起こりうるトラブル

- ハゲタカジャーナルに論文が掲載されていることで、**著者や著者の所属研究機関の評価・信頼が損なわれる**
- **不当に高額な料金請求など投稿料に関わるトラブルが発生**する
- 投稿後にハゲタカジャーナルであると気づいても、**論文の撤回が認められず、他の雑誌へ再度投稿し直すことができなくなる**
- 論文への**安定したアクセスが保証されておらず、突然閲覧できなくなる可能性がある**
- 質の保証されていない論文が出回るようになるため、**査読論文や学術雑誌全体の信頼に悪影響を及ぼす**
- **会費徴収が目的の国際会議等への参加を勧誘される**こともある

※ 北海道大学附属図書館「注意が必要な怪しいジャーナル」を一部改変して転載

詳細・お問い合わせは [広島大学ライティングセンター](#)へ

TEL : 082-424-6201

E-mail : [wrc@hiroshima-u.ac.jp](mailto:wrc@hiroshima-u.ac.jp)

URL : <https://www.hiroshima-u.ac.jp/wrc/resource/predatory>



詳細ページへは  
QRコードからも  
アクセスできます

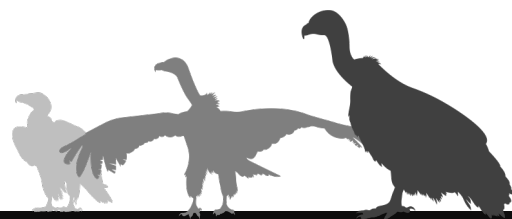
## ハゲタカジャーナルの見分け方

## チェックポイント



ハゲタカジャーナルであるかどうかを見極めるには、**どのような特徴を持つ雑誌がハゲタカジャーナルであるのかという視点**で、自分が投稿したい雑誌をチェックすることが必要です

- 編集責任者や編集委員が明記されているか？
- 編集責任者や編集者はその分野で実績のある研究者であるか？
- 査読方法が明記されているか？
- 査読期間は十分に確保されているか？
- Web of Science, SCOPUS, DOAJなどの採録に審査があるデータベースに収録されているか？
- COPE : Committee on Publication Ethics (出版規範委員会) や OASPA : Open Access Scholarly Publishers Association (オープンアクセス学術出版協会) などの出版団体に所属しているか？
- 論文投稿料がいくらなのか、そしていつ請求されるかが明記されているか？
- 雑誌の目的、対象分野やテーマが明記されているか？
- 雑誌の対象分野や収録されている論文の分野が広すぎないか？
- 同僚や該当分野の研究者はその雑誌について知っているか？
- その雑誌に掲載されている論文の質は高いか？
- ウェブサイトや電子メールに住所が記載されているか、またその住所は実在するか？
- 雑誌の名称やロゴが既存の雑誌と酷似していないか？
- 雑誌の問い合わせ、編集者などが使用している電子メールはその雑誌や所属機関のアドレスになっているか？



**投稿前には、十分に確認を！**